

# ナシダイ紹介

憩いの場、学習の場、  
特別業務の場など、  
ナシダイのいろいろな顔を  
ご紹介！



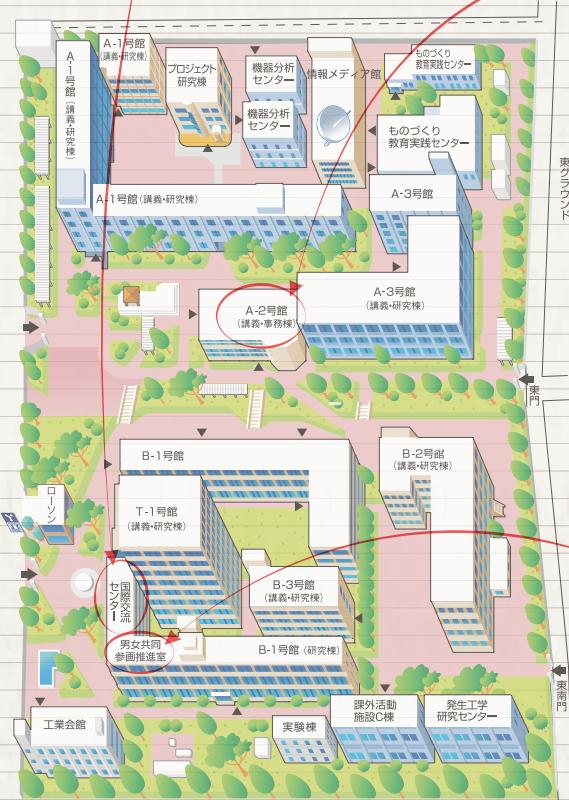
## 国際交流センター



## A-2号館1階ロビー



充実した大学生生活が送れるよう、  
ナシダイには様々な場所が  
用意されているわ



## 男女共同参画推進室



# ナシダイ 医学部 紹介

学術研究の場であり、  
地域医療の現場でもある  
ナシダイ医学部をご紹介☆

グランド



スターバックス



モニュメント



融合研究臨床応用推進センター



臨床教育センター



看護学科教育研究棟



どんぐり保育園



# Nashidai-Researchers-Times

## 女性研究者支援室、男女共同参画推進室へ

これまで主に女性研究者を対象に甲府キャンパスで活動してきた室だが、医学部キャンパスを含めた全学体制となり、誰もが働きやすい、学びやすい環境の整備を行っていく。



**平成24年度から活動を始めた女性研究者支援室は、平成27年1月、男女共同参画推進室として改編された。**

### 室長インタビュー なぜ？「男女共同参画推進室」なのか



Futaba Kazama

女性研究者支援室を改変し、新しく男女共同参画推進室を立ち上げた経緯について、同室室長の風間ふたば氏はこう話す。「これまで文部科学省の支援を受け、女性研究者の活躍支援に取り組んできた。3年が経とうとしている今、ようやく、学内のワーク・ライフ・バランス

ス促進、そして男女共同参画推進の雰囲気づくりができてきたように思う。女性研究者支援は、言わばこうした空きづくりの足掛かりだった。誰もがナシダイの大切な財産であり、その誰もが活き活きと働ける場を作り上げることで、大学全体の生産性を高めることができる。

## 交流スペースで広がる、情報交換の輪

### Conohana Cafe

ライフィイベント中の女性研究者を中心に、女性職員や女子学生などが集っていた男女共同参画推進室の交流スペース、通称「Conohana Cafe」。もちろんこれまでも男性の利用もあった。しかしながら内装が女性的であるということから、男性の利用者数は女性に比べ、格



段に少なかった。今回リラックスできるスペースの改編を機に、室では「誰もが利用しやすい



BULLETIN BOARD &amp; BOOK

育児や介護掲示板や図書の貸し出しは、これまで通り実施される。なお、一人で落ち着きたい場合には「話しかけないオーラ」を出せば、スタッフはスルーしてくれるとのことだ。

### 今日のポイント：男女共同参画

【読み方】ダンジョウ・キョウドウ・サンカク。区切ると読みやすい。リズムで勝負。  
【男女共同参画社会とは？】「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会(男女共同参画社会基本法第2条)」のこと。



まあ、知らないわ

男女共同参画では男女についていろいろ言うだろ？  
それに年齢や人種、さらには宗教や性的マイノリティ LGBTなどが加わるとなんというか知っているかい？



活動の目的

男女共同参画推進室は、国立大学法人山梨大学男女共同参画推進本部の下で、男女共同参画の具体的事業の推進及び女性研究者がその能力を発揮するために必要な研究環境の整備等に関する業務を行うことを目的としています。

事業の内容

1 男女共同参画推進の具体的事業の推進

- (1) 男女共同参画推進に係る企画・立案・実施に関すること
- (2) 職員のワーク・ライフ・バランスに係る支援に関すること
- (3) 次世代育成支援対策に関すること
- (4) その他本学の男女共同参画の推進に関する業務を処理すること

2 女性研究者の研究環境の整備

- (1) 女性研究者の研究支援策の企画・立案・実施に関すること
- (2) ライフイベント中の研究者に対する研究支援に関すること
- (3) 女性研究者支援に関する意識啓発のための環境整備・情報発信に関すること
- (4) 女性研究者裾野拡大のための学生支援に関すること
- (5) 女性研究者支援に関する情報共有の場の設置および相談対応に関すること
- (6) その他女性研究者の研究環境の整備に関すること

笑顔が広がる大学へ――

咲くや Co の花プロジェクト

男女共同参画推進室は、女性研究者支援室の活動名称「咲くや Co の花プロジェクト」を継承し、『強く、美しく輝き続ける女性応援』を引き続き実行しています。

プロジェクト名の由来は、日本神話において「木の花（桜あるいは梅の花）が咲く様に美しい女性」として登場する女神「木花咲耶姫（コノハナサクヤヒメ）」から着想したもので、働きながらもライフケイブンを充実させ、桜の花が咲く様にいつまでも美しく輝き続ける女性をサポートすることを表しています。

Coの花の“Co(こ)”には Coordination・Coordination・Communication の、3つの意味を込めました。

被支援者と支援者を結びつける  
Coordination

地域と連携して女性研究者を支援する  
Cooperation

情報交換の場を提供する  
Communication

咲くや Co の花プロジェクトのマスコットを  
「Coの花姫」と名付けました。

美しく咲いた桜の花と、仕事にも私生活にも頑張る女性たちのイメージを重ね合わせ、笑顔で朗らかに、そして優雅に風に揺れている桜の花をイメージしてこのマークを設定しました。



主な取り組みの紹介

両立可能な  
環境の整備  
支える

交流の場と  
情報の提供  
集う

次世代研究者の育成  
育てる

学内連携の強化  
整える

◆ 女性研究者サポーター制度

ライフイベント中の研究者(※)へキャリアアシスタント(通称CA)と称する、実験や論文検索などの研究活動を補助するサポーターを派遣!  
(※女性研究者および配偶者が研究者である男性研究者)

◆ 社会福祉法人 宮前保育園と連携した育児支援

宮前保育園の一時預かり事業、病児・病後児保育事業、休日保育事業と連携。ナシダイの教職員・学生なら誰でも利用できます!

◆ 産休・育休からの復帰支援制度

産後の特別休暇、および育児休業から職場復帰した研究者に対し、学会参加費や論文投稿費の助成を行っています。

◆ 交流スペースの設置

誰もが気軽に利用できる交流スペースを設置。研究者同士の情報交換や交流、ライフイベントに関する情報収集・交換の場として利用できます。また、定期的にランチ会を実施しており、教職員、学生問わず、幅広い交流の場としています!また、交流の場では話しにくい内容については、相談室にて受け付けています。

◆ 大学院共通講義「ワーク・ライフ・バランス特論」の実施

学生たちが、自分の将来について本気で考える楽しい講義を実施しています(前期のみ)!

◆ ホームページを通したロールモデル紹介

ホームページ「今月のCoの花さん」のコーナーで、様々な分野で活躍する先輩方をご紹介中!

◆ 研究サポーター制度を通しての女性研究者育成

「支える」でも紹介したキャリアアシスタントは、研究活動を間近で見られるうえ、将来のライフイベントにおける仕事の在り方を具体的にイメージするのに有効!研究職を志す学生に大人気です!

◆ 学内ネットワークの強化による環境整備

学内に設置されている様々な支援室やセンター、委員会などとのネットワークを強化し、誰もが働きやすい環境の実現にむけた提案や取組を実施します。

◆ 意識改革&スキルアップのためのセミナー・講演会

学内の意識改革や研究者のスキルアップのために、各種セミナーや講演会を実施しています!

◆ ホームページ、随時更新中★

当室ホームページでは、活動事業紹介のほか、ロールモデル紹介など各種コンテンツを随時更新しています。英語版もほぼ完全対応!

<http://www.conohana.yamanashi.ac.jp>

QRコードはコチラ  
ORコードはコチラ



◆ ランチ会に参加してみませんか★

2の付く日は…「介護トークランチ会」

高齢者介護や障害者介護について、情報交換を行っています。

5の付く日は…「パパ活マランチ会」

育児情報はもとより、地域の生活やお得なスーパーに関するこれまで、幅広く気軽に情報交換できる場として好評です。

8の付く日は…「フリーテーマランチ会」

誰でも参加OKの日。仕事のこと、趣味のこと、家族のことやイベント CMなど、なんでもありの雰囲気でランチを楽しんでいます。

0の付く日は…「ランチ女子会」

女性ならではの話題を中心にランチしています。



# 編集後記

「ナシダイ Researchers☆ Vol.2」を  
最後までご覧ください、ありがとうございました!

今回の研究者の方々もネタ持ちの方ばかりで、  
紙面では紹介しきれない内容が本当にたくさんありました。  
研究の奥深さも去ることながら、意外なネタ提供があったり、  
取材とともにブチセミナー的な空気になったりと、  
想定外の展開にスタッフは興奮しきりでした。

学生の皆さんには、是非とも在学中に研究者の方々から、  
いろいろな知恵と知識を吸収していただきたいと思いました!  
話が面白すぎて帰りたくくなってしまうので、  
時間をたっぷり作ってからお伺いするのがベストです(笑)

研究者の皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。  
また、ご協力くださった職員の皆様、学生の皆さんにも感謝申し上げます。

「ナシダイ☆Researchers」では  
今後もたくさんの素敵な方々をご紹介していきたいと思いますので、  
どうぞお楽しみに。  
この本がみなさまの励みや参考になれば幸いです。

Coの花姫&スタッフ一同  
平成27年2月



発行：国立大学法人山梨大学 男女共同参画推進室  
〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37  
TEL : 055-220-8350 FAX : 055-220-8351  
E-mail : conohana@yamanashi.ac.jp  
URL : <http://www.conohana.yamanashi.ac.jp/>  
印刷：有限会社スターシップ・コーポレーション  
文部科学省 科学技術人材育成費補助金「女性研究者研究活動支援事業」